

いぶき橋の架橋により踏切事故の心配がなくなり、渋滞も解消



整備後

国道461号いぶき橋供用開始(18年3月)



整備前

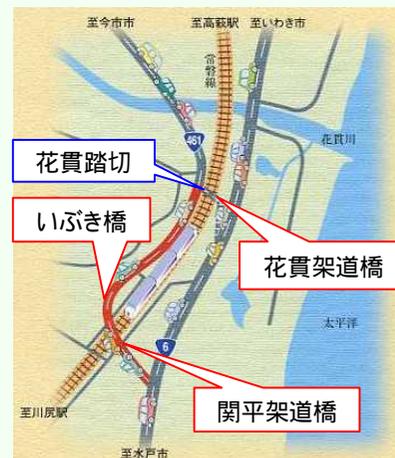
斜めに交差している花貫踏切

高萩市の花貫踏切付近は国道6号との距離が短く幅員も狭いうえ、JR常磐線と斜めに交差していることから慢性的な交通渋滞を引き起こしていました。

いぶき橋を架橋したことにより、踏切事故もなくなり大型車両もスムーズに通行することが出来るようになりました。

(平成13～17年の5年間に花貫踏切付近で7件の事故発生)

また、走行速度が10km/h以上向上し、年間約60t(森林面積6haに相当)のCO2排出量削減効果もみられました。



一般国道461号 踏切除却・改良事業

- ・工事期間：平成11年～18年度
- ・延長：1,260m
- ・幅員：12m(2車線)
- ・総事業費：約34億円